

平成 30 年 度
(2 0 1 8 年 度)

事 業 報 告 書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

当協会は、人権尊重を基調とした地域社会づくりに寄与するため、吹田市が進める多文化共生社会推進の考え方にのっとり、国際化促進と市民の国際交流活動の支援、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成、地域で暮らす多様な人々の支援など多岐にわたる事業を展開しています。

平成30年度の事業について次のとおり報告します。文中、特定非営利活動法人は（特活）、公益財団法人は（公財）、一般財団法人は（一財）と表記します。

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民が主体となって国際交流や国際理解を進め、多様な価値観を認め合う地域社会の実現を推進します。

1 友好交流都市との交流事業（吹田市補助金事業）

オーストラリアにあるカンタベリバンクスタウン市との交流事業は、吹田市に協力する形で事業を進めています。2018年2月に両市小学校間のビデオ交流へのアプローチ相談を受けて以降、市役所からの問い合わせに対応する程度で、組織的な活動は発生しませんでした。

スリランカのモラトワ市との交流事業についても、吹田市に協力する形で事業を進めています。組織的な活動はありませんでしたが、2019年度第2回多文化まつりへの出展に向けた交渉を実施しました。

今後も、多文化共生社会づくりを目指す吹田市に協力する形で、友好交流都市であるカンタベリバンクスタウン市とスリランカのモラトワ市との交流事業を前進させたいと考えています。

2 国際交流情報の収集及び発信（ホームページのみ吹田市補助金事業、他は自主事業）

（1）会報S I F A T i m e s の発行、年4回、各回1,500部～2,100部

当協会の事業紹介・活動報告、在住外国人向け多言語情報、近隣他団体の情報などを掲載し、当協会の全会員、行政関係、教育機関、国際交流関係機関などに送付しています。2018年に会報の配布先を見直し、600部増刷し印刷部数を2,100部にしました。

(2) 国際交流情報の収集及び発信

多言語のホームページとフェイスブック、並びに留学生や在住外国人向けの多言語メーリングリスト「ミミヨリ I N F O」などの活用により、当協会が収集した国際交流情報を発信し、必要な人が必要なときに適切に情報を得られるようにしました。「ミミヨリ I N F O」は、やさしい日本語、英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語などで発信しています。登録者の反応が良いため、今後市政情報の提供など配信内容の充実化が望まれています。

3. 市内大学との連携による留学生などと市民の交流

(1) 市内の大学などのホストファミリープログラムの支援（吹田市補助金事業）

ア 大阪大学ホストファミリープログラム（大阪大学国際教育交流センター）

留学生及びホストファミリーが互いの文化・習慣を正しく知り、相互理解を深めることをねらいとして、家族ぐるみで国際交流活動を行ないました。ホストファミリー世話人を中心に運営し、交流期間中のサポートや交流会を実施しました。

交流期間 ① 春季プログラム（4月～9月） 交流家庭 26家庭

交流期間 ② 秋季プログラム（10月～3月） 交流家庭 35家庭

イ ホストファミリーボランティア説明会（兼研修会）

ホストファミリーボランティア説明会は、ボランティア登録説明会と組合せて実施しました。SIFAの事業紹介・ボランティア講座、ホストファミリーボランティア登録説明会などで構成し、経験者による体験談を聞いたり、新規参加者からの疑問・質問に対し世話人など経験者が答えたりする場としました。ゲストスピーカーとして留学生から交流の様子を、ホストファミリーからさまざまな国の留学生を受入れしてきた経験の中から率直な感想などを話していただきました。

開催日 7月22日（日） 参加者 22組（37名）、 内18組が登録

開催日 2月16日（土） 参加者 18組（33名）、 18組が登録

ウ ホストファミリー交流会

① 第1回ホストファミリー交流会

ホストファミリー世話人の呼びかけにより野外で集会を実施し、ボランティア同士の交流を図りました。

開催日 5月19日（土） 参加者 59名（18家族、留学生20名）

場 所 千里南公園

② 浴衣着付け講習会

浴衣を着て夏祭りに参加できるように、着付け講習会を実施しました。

開催日 7月7日（土） 参加者12名（3家族、留学生2名）

③ 第2回ホストファミリー交流会

15か国の留学生が参加したポットラックパーティーでは、さまざまな食の文化に触れることができました。食材が話題のきっかけになり、参加者同士の交流を深めることができました。

開催日 12月9日(日) 参加者 83名(21家族、留学生26名)

場 所 南千里地区公民館

エ 他団体からのホストファミリー募集協力

① 府立北千里高等学校から台湾永春高等学校来日のホストファミリー募集

実施期間 6月8日(金)～6月9日(土)

組み合わせ数:1家庭

② 大阪学院大学CETアカデミックプログラムからアメリカインディアナ州高校生来日のホストファミリー募集

実施期間 6月14日(木)～7月18日(水)

③ 大阪大学医学部国際医療研究会からタイ・マヒドン大学医学部生5名来日のホストファミリー募集

実施期間 7月3日(火)～7月11日(水)

II 国際化推進の人づくり支援

1. 国際交流ボランティア活動支援

地域の中に積極的に外国人を受け入れ、自主的な交流を目指しているSIFA登録ボランティアをサポートする一方、研修会を実施しスキルアップを図るとともに、バランスの良い運営ができるようコーディネートしました。

(1) 国際交流ボランティア登録（吹田市補助金事業）

登録したボランティアの2018年度活動メニューは次のとおりです。

日本語チューター/にこにこ日本語/ハロハロSQUARE/こあらくらぶ/翻訳・通訳/コミュニティ通訳病院同行/コミュニティ通訳行政窓口同行/ホストファミリー/SIFA Times 発送/保育/多文化まつり

登録者 223名（内訳:日本人 207名、外国人16名/中国、台湾、韓国）

ア ボランティア登録説明会

ボランティア登録説明会はホストファミリーボランティア登録説明会と組合せて実施しました。説明会ではSIFAの事業紹介・ボランティア講座などを実施し、新規参加者が活動するに際しての疑問・質問を相談できる個別ブースも設けました。

開催日 ① 7月22日（日） 参加者 27名

開催日 ② 2月16日（土） 参加者 45名

場 所 市民公益活動センター（ラコルタ）ほか

新規ボランティア登録者数 ①23名 ②37名

(2) ボランティア講座（吹田市補助金事業）

ア 「はじめての日本語ボランティア」講座

「やさしい日本語」や「ボランティアの心構え」など、SIFAで日本語ボランティア活動するに当たって最低限必要な研修を行いました。

開催日 ① 4月3日（火） 参加者 7名

開催日 ② 4月7日（土） 参加者 12名

場 所 ① SIFA ② 南千里地区公民館

講 師 榎原智子氏（SIFA講師）

イ 「イスラムの考えとは～ハラルってなに？～」講座

SIFAの国際交流ボランティア活動に初めて参加するボランティア登録者を対象に、事前研修として実施しました。世界の人口の4人に1人はムスリムとされている中、身近にいるムスリムの友人やボランティア活動の中で出会うムスリムの方に、

食事の面も含めどのように接すれば良いのかを、イスラム教の考え方とその生活習慣とともにお話いただきました。

開催日 7月22日(日) 参加者 44名

場 所 市民公益活動センター(ラコルタ)

講 師 大阪大学ムスリム留学生協会

ウ 「外国にルーツをもつ子どもの学習支援～教科学習と日本語」講座

SIFA及び近隣でボランティア活動中の方や学校教員などを対象に、外国にルーツをもつ子どもについて、学校での現状や課題、子どもたちの学習支援ノウハウを、講師による講座で学びました。ワークショップでは、実際に中学生の問題を日本語面からどのように指導すればよいか、グループで考え、発表しました。

開催日 10月28日(日) 参加者 25名

場 所 市民公益活動センター(ラコルタ)

講 師 坪内好子氏(NPO法人おおさかこども多文化センター理事、西淀川インターナショナルコミュニティ運営委員)

(3) ボランティアによる日本語学習支援

ア 日本語チューター(吹田市補助金事業)

学習者とボランティアのマッチングを経て、外国人が地域住民とともに日本語を学習できる機会として設置しました。学習希望者に対して待機いただく場合が増えており、特に要望の多い夜クラスのボランティアを今年度増員しました。ボランティアによる自主運営を基本に据え、できるだけ学習者のニーズに合わせ柔軟に対応しました。結果、学習効果が上がり学習意欲の向上にもつながりました。また学習面のみならず、1対1でお互いに良い信頼関係を築くことができました。

開催日 4月～3月(朝:42回、昼:42回、夜:42回)

参加者 学習者・ボランティア: 延べ826組

(朝:214組、昼:245組、夜:367組)

場 所 SIFA

イ にこにこ日本語(吹田市補助金事業)

少人数グループで、ボランティアとともに学ぶ日本語教室です。対話型教材「はじめてのにこにこ」と「にこにこ」を使用して幅広いレベルに合わせた学習ができました。各班にグループリーダーを配置し、毎月ボランティアミーティングを実施することにより、ボランティアの自主的な活動を一層深化させました。学習者の日本語力を深めるだけでなく、日本語交流活動を通してボランティア自身が日本文化について理解を深め、学習者とともに学び合い育ち合う機会となり、学習者・ボランティア双

方にとって満足度の高い事業となりました。土曜日しか参加できない学習者が多くいて、週末に学習機会を設けることが求められていることを感じています。

開催日 4月～3月 (全40回)

参加者 学習者：延べ479名 ボランティア：延べ500名

場 所 S I F A

2. 語学教室 (自主事業)

学習者の知識や技術習得だけでなく、さまざまな国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことを手始めに国際理解の意識を高め、地域とともに生活する隣人としての外国人支援の重要性を伝えました。また、英語学習を通して子どもたちの国際理解を深め、グローバル人材の育成に努めました。

語学教室の概要： クラス数 67クラス

(通年40、半年4、短期・江坂ほか21、サマー2クラス)

参加者 ※登録人数 524名

(通年クラスは2018年1月時点の受講生数)

※延べ参加者数585名 (参加者数の単純合計)

場 所 S I F Aほか

英語の通年クラスの教材は、継続受講者にとって魅力あるクラスとなるよう、毎年変更することにしました。また、従来の短期クラスの中で、好評なクラスは今年度から通年クラスにしました。小学生クラスはこれまで土曜日のみでしたが、今年度試みとして水曜日クラスを開講しました。平日でも好評のため、次年度は水曜日と土曜日の双方でクラスの増設を検討します。

南千里以外の地域での教室開講を模索していたが、今年度から新たに江坂教室を開講しました。江坂周辺ではまだS I F A教室の知名度が低く学習者が集まりにくい状況にあります。周辺の大手の語学教室などと競合しない範囲で、S I F Aの持ち味を活かされるようなクラス設定が望まれます。

韓国朝鮮語は昨年度レベル1の申込者数が少数のため不開講になりましたが、今年度は満席となりました。学習者のニーズ把握が難しい状況にあります。

中国語クラスの新規参加者は毎年少人数なので、中国語に興味を持ってもらえるようなイベントの開催などの工夫が必要です。

語学講師は総じてプロ意識が高く、またそれぞれにオリジナリティ溢れるレッスン内容で受講者からの評価もおおむね高いです。また、子どもクラスでは、根気強く丁寧でわかりやすい教授法と飽きさせない工夫とで、評価が高いです。

(1) 通年、半期クラス

英語（大人・子ども）・中国語・韓国朝鮮語クラスを開講しました。

ア 通年クラス・大人

	クラス数	人数
英語	20	195名
中国語	2	12名
韓国朝鮮語	3	17名

イ 通年クラス・子ども

	クラス数	人数
親子（幼児）英語	5	30組
小学生英語	8	65名
中学生英語	1	3名
高校生英語	1	4名

ウ 半期クラス

	クラス数	人数
英語（4～9月）	2	16名
英語（10～3月）	2	16名

(2) 短期クラス

ア 使える定番フレーズ（レベル3～4）

ネイティブがよく使うフレーズを学習して、表現力のバリエーションをアップするクラスです。

開催日 5月7日（月）～ 7月9日（月） 全10回 参加者 6名

イ 英語で学ぶ世界の国々（レベル3～4）

講師がレッスンごとに1か国を取り上げてプリントを作成し、その国について深く掘り下げて知る、英語でさまざまな国について学ぶクラスです。

開催日 5月8日（火）～ 7月10日（火） 全10回 参加者 5名

開催日 10月2日（火）～ 12月4日（火） 全10回 参加者 5名

開催日 1月8日（火）～ 3月12日（火） 全10回 参加者 7名

ウ 英語でロールプレイング（レベル1～2）

日常でよく使う英語表現をシチュエーション別に会話形式で学ぶクラスです。

開催日 10月2日（火）～ 12月4日（火） 全10回 参加者 5名

開催日 1月8日（火）～ 3月12日（火） 全10回 参加者 8名

エ 洋楽で楽しく学ぶ英会話（レベル不問）

シンガーとしても活躍する講師と、エネルギーに洋楽を学び歌うクラスです。

開催日 5月8日（火） ～ 6月19日（火） 全 7回 参加者 5名

発表会 6月24日（日）

開催日 1月7日（月） ～ 3月11日（月） 全 8回 参加者 7名

発表会 3月16日（土）

オ 親子でシング & チャンツ

話し言葉をリズムにのせて表現する「チャンツ」や歌を通してネイティブの発音を学ぶクラスです。

開催日 5月15日（火） ～ 7月10日（火） 全 5回 参加者 7組

開催日 10月2日（火） ～ 11月27日（火） 全 5回 参加者 5組

開催日 10月9日（火） ～ 12月4日（火） 全 5回 参加者 5組

開催日 1月8日（火） ～ 3月5日（火） 全 5回 参加者 7組

開催日 1月16日（水） ～ 3月13日（水） 全 5回 参加者 7組

カ 英語でダンス・イントロダクション（レベル不問）

ブラジル出身の講師から英語でさまざまなダンスの違いを学び体験するクラスです。

開催日 1月8日（火） ～ 2月5日（火） 全 5回 参加者 4名

キ 韓国朝鮮語

英語以外の言語はレベル3以上のクラスがないため、会話を中心としたレベル3～4クラスを短期で開講しました。また、次年度から初級クラスの方に受講いただけるように、基礎のハングル文字から学ぶ短期超入門クラスを開講しました。

1) 対象：レベル3～4

開催日 5月8日（火） ～ 7月10日（火） 全10回 参加者 3名

2) 対象：レベル0（入門者）

開催日 2月6日（水） ～ 2月27日（水） 全 4回 参加者 6名

(3) サマーコース

ア 子どもクラス/英語

『Kids イングリッシュサマークラス』として1クラス3時間の中で実験やゲーム、おやつタイムなど、英語漬けで過ごすプログラムです。

1) 対象：小学1～2年生（レベル不問） 1クラス

開催日 7月26日（木）、 7月31日（火） 参加者20名

2) 対象：小学3～6年生（レベル不問） 1クラス

開催日 7月26日（木）、 7月31日（火） 参加者12名

(4) S I F A江坂教室

江坂教室新規開講第1弾として『話そう たびえいご』を開講。講師が作成したプリントを使い、旅先で役立つ会話などを学ぶクラスとしました。

開催日	6月21日(木)	～	7月19日(木)	全5回	参加者	8名
開催日	10月4日(木)	～	12月6日(木)	全10回	参加者	5名
開催日	1月10日(木)	～	3月14日(木)	全10回	参加者	7名

(5) 多言語アワー イタリア語

イタリア出身の講師から、イタリア語の基本表現や現地の文化・生活について学ぶクラスです。好評につき第2弾として10月に続・イタリア語を開講しました。

開催日	6月5日(火)	～	7月10日(火)	全6回	参加者	15名
開催日	10月2日(火)	～	11月6日(火)	全6回	参加者	7名

3. 異文化理解・啓発事業

(1) 多文化まつり (吹田市補助金事業)

長年の願いであった、南千里での「第1回多文化まつり」が実現しました。2017年11月に実行委員会を発足、以降多数の企画ボランティアに加わっていただき、市や企業・関係団体など、皆様の多大なるご協力のおかげで実施することができました。来場者は、アンケート回収数から推測して、1,000人を超えたと思われます。ステージプログラムは、7プログラムを実施しました。救援衣料チャリティーバザーでは、段ボール約50箱の衣料と、売上金と募金合わせて69,928円を、認定NPO法人日本救援衣料センターを通じて海外に寄付しました。

開催日	6月24日(日)
場所	千里ニュータウンプラザ2F市民センター大ホール、エントランスホール
後援	吹田市、吹田市教育委員会
協力	市民公益活動センター(ラコルタ)
協賛企業	アサヒビール(株)吹田工場、エースコック(株)、大幸薬品(株)

(2) 多文化共生講座 (吹田市補助金事業)

多文化共生について理解し、地域の国際化を進める人材育成のために、国際交流ボランティア・ホストファミリー登録説明会と一部合同の形で実施しました。「差異を認識し」「相手への敬意を持ち」「折り合いと調和を図ること」が多文化共生の基本の考え方だと、講義いただきました。

テーマ	「外国にルーツをもつ人々とのコミュニケーション～同じと違いを考える～」		
開催日	2月16日(土)	参加者	59名

講 師 富岡 美知子氏（異文化コミュニケーショントレーナー）
場 所 市民公益活動センター（ラコルタ）

（3）異文化理解出前講座「地球村ぷらす」（吹田市補助金事業）

市民の異文化理解を深めるために2回実施しました。

① 「地球村ぷらす」ペルー

ペルーの文化やスペイン語の会話、楽器の演奏など、多彩な内容で参加者に楽しく学んでいただきました。地震発生後半月での開催であり、数人のキャンセルが出ました。

開催日 7月8日（日） 参加者 17名

場 所 S I F A

講 師 カルロス・オチャンテ氏（ペルー出身）

② 「地球村ぷらす」コートジボワール

母国の話でアフリカを身近に感じることができました。特にご自身の結婚式の様子紹介は、講師のお人柄がにじみ出ていて、参加者に感動を与えていました。

開催日 12月16日（日） 参加者 19名

場 所 吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷

講 師 ウイリアム ファブリス ブル氏（コートジボワール出身）

共 催 （特活）吹田歴史文化まちづくり協会

4. 子ども国際理解事業

（1）子ども国際理解事業（吹田市補助金事業）

ア 子ども国際理解事業・小学校出前授業

吹田市教育委員会の「ドキドキワールド」プログラムの一つとして、S I F Aでは小学生を対象に、「国際理解パッケージ～食べもの編」をベースとした各国の文化紹介を行い、楽しみながら異文化交流を行う機会を提供しました。

① 子ども国際理解事業～台湾編～

外国人ゲストから台湾についての紹介をした後、食べものを通じた世界と日本のつながりについて話をしました。

開催日 12月13日（木）2・3限目の2回

場 所 吹田市立古江台小学校

参加者 3年生3クラス88名（44名×2回）

② 子ども国際理解事業～イラン編～

ゲストから母国イランの紹介の後、食べものを通じた世界と日本のつながりについて話をしました。

開催日 2月21日（木）3・4限目の2回

場 所 吹田市立岸部第一小学校

参加者 6年生2クラス56名 4年生2クラス44名

イ 子ども国際理解事業イベント

「買いものパスポート」を持って外国人ブースをまわりました。各ブースでは、各国語でのあいさつ、各国食べもの(シール)をお買物、各国のあそびを教えてもらう、という3つの体験を楽しみました。また、クイズを交えながら食べものを通じた世界と日本とのつながりについて話をしました。

開催日 12月23日(日)

場 所 市民公益活動センター(ラコルタ)・SIFA

参加者 小学生26名

外国人ゲスト5名(ヨルダン、コートジボワール、ペルー、韓国、中国)

ボランティア:5名

(2) かえっこバザールへの出展(吹田市補助金事業)

市民公益活動センター主催の「かえっこバザール」に出展し、地域の子どもたちを対象に、異文化体験・国際理解につながるイベントを実施しました。

開催日 3月24日(日)

場 所 SIFA

5. 国際交流団体など支援・連携事業

(1) 共催・協賛事業の実施及び名義後援(市民グループなどとの協働及び連携)

地域における国際交流などについて、国際交流に関する市民団体や関係機関が相互に情報交換ができる場を設けました。また国際交流団体などの実施する事業に対して、共催・後援などの支援を行いました。

ア 共催事業の実施

① 異文化理解出前講座「地球村ふらす」

共 催 (特活)吹田歴史文化まちづくり協会

※詳細は異文化理解出前講座「地球村ふらす」に記載しました。

② 外国人市民との語り合いカフェ

箕面を拠点に活動する「チームモイ」のメンバーをゲストとして招き、「ともに暮らすということ」というテーマについて参加者が活発に意見交換をしました。

開催日 12月11日(火) 参加者 12名

場 所 市民公益活動センター(ラコルタ)

共 催 市民公益活動センター(ラコルタ)

イ 協賛事業の実施

協賛事業はありませんでした。

ウ 名義後援 6件

- ・第18回2018多民族共生人権研究集会
- ・第15回すいたアジアンフェア
- ・(一財)言語交流研究所ヒッポファミリークラブ
- ・JAPECこども英語フェスタ
- ・ホープ・フォー・ジャパン「Birthday, Brighter-day」
人種を超えた友情・協力すれば奇跡が起こる
- ・SINGワールドキャンパス吹田訪問事業

(2) 協働及び連携事業の実施（国際交流組織などとの協働及び連携）

国際化事業を進めるために関係する行政機関や国際交流機関、大学などと広く連携し成果を収めました。

ア CARES-Osaka事業

※学校法人関西大学委託事業

関西大学が文部科学省から委託を受けた「住環境・就職支援等留学生の受け入れ環境充実事業」におけるCARES-Osaka事業を受託し実施しました。

① CARES CAFE 「わらしべ長者」

留学生が、就職に関する情報を得たり、社会生活上での問題解決のために法律などの専門家のアドバイスを求める機会を提供しました。

開催日 10月15日(月)、11月19日(月)、12月17日(月)、
1月21日(月)、全4回

法律相談： 毎回計4回法律相談会を開催。相談件数は2件

法律ミニ講座：2回開催

テーマ「家を借りるときに気を付けること」「在留資格について」

就職体験談： 「日本企業で働く～先輩からのアドバイス」

場 所 SIFA

② 小学校体験事業

小学校におけるALTの授業や小学校生活の一部を体験し、ALTや英語教員に対する具体的なイメージを持つ機会を提供しました。

協力校 2校 (吹田市立千里第二小学校、吹田市立桃山台小学校)

参加留学生 13名

③ 留学生と住民との地域交流

留学生の地域住民との交流を進めるため、体育祭やもちつき大会、雪あそびスノーフ

ェスタへの参加を呼びかけました。

- ・ 津雲台地区市民体育祭参加

開催日 10月8日(月) 参加者 11名

場 所 吹田市立津雲台小学校グラウンド

- ・ 津雲台親子もちつき大会参加

開催日 11月18日(日) 参加者 20名

場 所 吹田市立津雲台小学校グラウンド

- ・ つくもスノーフェスタ参加

開催日 2月3日(日) 参加者 2名

場 所 アップ神鍋スキー場(兵庫県)

イ MUS E たかつきカレッジクラブ講座「Easy Peasy English」

※株式会社関大パンセ委託事業

協会の講師を派遣し、簡単な遊びを通して英語を楽しく学ぶ、異文化理解を目指した講座を行いました。

講座名 MUS E たかつきカレッジクラブ講座「Easy Peasy English」

①Year 1－2クラス

第1期：開催日 5月25日(金)～7月20日(金) 全6回 参加者 15名

第2期：開催日 9月14日(金)～11月30日(金) 全6回 参加者 16名

②Year 3－6クラス

第1期：開催日 5月25日(金)～7月20日(金) 全6回 参加者 10名

第2期：開催日 9月14日(金)～11月30日(金) 全6回 参加者 8名

場 所 ジオタワー高槻ミュージズフロント

講 師 ジョン・ファム氏(SIFA講師)

(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携(自主事業)

春、秋の留学生の入学式、卒業式へ臨席するとともに、折に触れ地域の中での受け入れ支援体制について情報提供し、地域住民の一人としてともに快適に暮らせるように連携しました。

(4) 国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会に参画

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、機関などとのつながりの場を作り、国際交流、異文化理解、多文化共生、国際協力などさまざまな情報を相互に情報交換し、広域的な相互連携、協力できる体制を継続しました。構成団体は11団体で、定例会は7回開催しました。

① 国際交流協会ネットワークおおさか法律関連研修会

テーマ：生活困窮者の支援と外国人

開催日：12月14日（金）

場 所：大阪国際交流センター（アイハウス）

参加者：SIFAから1名参加

② 無料相談会（法律相談・生活相談）

国際交流協会ネットワークおおさかが主体となって、SIFAにて無料の法律・生活相談会を開催しました。広報ちらしは各団体の協力を得て10言語にて作成し、予約者には通訳を準備しました。法律相談は5件あり、相談内容は労働、起業、離婚などでした。生活相談は1件あり子どもの医療に関する相談でした。弁護士は3名、相談者は1名、スタッフは10名で対応しました。

開催日 1月20日（日）

場 所 SIFA

参加者 SIFAから2名参加

③ パネルディスカッション

近畿地域の地域国際化協会、市町村国際交流協会、各自治体の国際化担当課、外国人支援のNPOなどを対象にして、有識者や行政、国際交流の現場からパネリストを招き、防災、多文化共生、日本語教育、事業の現場の4テーマに沿って、パネルディスカッションを実施しました。

テーマ：「近畿発！今、あらためて「多文化共生」を問い直す」

開催日 2月8日（金） 全参加数 44人

場 所 とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ すてっぷホール

参加者 SIFAから1名参加

④ ワークショップを学ぶインターシップ研修

栗本敦子氏を講師に迎え、ワークショップの進め方についての研修会を実施しました。

開催日 3月19日（火）

場 所 （公財）大阪国際交流センター

参加者 SIFAから1名参加

(5) 吹田市国際交流団体ネットワーク構成団体との連携

吹田市内で活動する国際交流関連の各種団体17団体で構成しています。SIFAのホームページに団体紹介を掲載しており、まつりなどのイベントでは連携して活動しています。

Ⅲ 在住外国人の支援

1 日本語教室の開催

※（吹田市委託事業「在住外国籍市民のための日本語教室運営事業」）

（1）日本語教室

日本語を初めて学ぶ人から簡単な会話ができるまでの2クラスを開講しました。就学前の子どもがいる学習者のためにボランティアの協力により保育付きのクラスも設けました。日本語の習得だけでなく、生活情報の取得や仲間との交流など、外国人の生活基盤を築く上で重要な役割になっています。クラス時間数の増加、無料中級クラスの開講、保育の増設など学習者からの要望に対し、リソースの制約上十分にはこたえきれていない状況です。

開催日 前期（4月～9月）

後期（10月～3月）

参加者 前期：日本語1：39回 延べ460名、

日本語2：39回 延べ202名

後期：日本語1：40回 延べ486名、

日本語2：39回 延べ414名

場 所 S I F A

（2）日本語教室発表会

日本語教室発表会は、日本語ボランティアやSIFA語学教室受講生などの地域の方と発表者の家族など多くの人に見ていただき、地域交流の場にもなりました。

開催日 12月9日（日） 参加者 発表者：14名 観覧者：51名

場 所 市民公益活動センター（ラコルタ）

（3）吹田市日本語教室ネットワーク連絡会

吹田市内の日本語教室が集まり、情報や課題を共有し、教室間・ボランティア間の交流を図りました。構成団体は、おしゃべり会、西山田あいうえお、日本語クラブ、やさしい日本語、識字学級文字板クラブ、竹の子にほんご交流会、千里国際友好会、SIFAの8団体です。11月には連絡会主催の合同事業として、万国博記念公園への遠足イベントを開催、複数の教室から約40名の参加があり、連帯を深めました。

開催日 6月13日（水） 3月6日（水）

場 所 S I F A

2 コミュニティ通訳ボランティア同行事業

(1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業（吹田市補助金事業）

日本語による会話が十分でない外国人が、言葉の壁により医療機関などを利用する機会が失われないように、市内提携病院や保健センターなどを利用する際に協会の研修及び大阪大学医療通訳養成コースを修了したコミュニティ通訳ボランティアが同行し、診察時などにて通訳を行いました。

同行医療機関など：吹田市民病院・済生会吹田病院・済生会千里病院・

吹田市立保健センター・愛仁会井上病院（旧名：蒼龍会井上病院）

ア コミュニティ通訳病院同行

同行件数 160件（中国語：108件、英語：52件、韓国朝鮮語：0件）

イ コミュニティ通訳ボランティア同行事業関係者会議

2年の間に通訳ボランティアが徐々に減少したため、次年度に向け大阪大学医療通訳者養成コース修了者を対象に通訳ボランティアを募集し、体制強化を図ることを報告しました。連絡会議での話題のひとつに、患者の都合による当日キャンセル（11件）に対する対応があり、継続課題となっています。

開催日 6月26日（火） 2月19日（火）

場 所 S I F A

(2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行事業（吹田市委託事業）

吹田市内に在住・在学・在勤する外国籍市民を対象に、行政窓口における各種手続きや相談に同行し、外国籍市民が円滑に手続きを行い、また、生活を送ることができるよう支援を行う事業を立ち上げ、運営しました。

ア コミュニティ通訳行政窓口養成講座

養成講座を受講し、所定の審査に合格した者22名（英語15名、中国語6名、韓国朝鮮語1名）を「行政通訳ボランティア」として登録しました。

開催日・内容 7月26日（木）コミュニティ通訳概論／通訳基礎トレーニング①

講 師 水野真木子氏（金城学院大学 教授）

開催日・内容 7月27日（金）通訳の役割・倫理規範／通訳基礎トレーニング②

講 師 水野真木子氏（金城学院大学 教授）

開催日・内容 7月30日（月）国民健康保険室／教育委員会学務課

講 師 吹田市役所 職員

開催日・内容 8月3日（金）保育幼稚園室／市民課

講 師 吹田市役所 職員

開催日・内容 8月7日（火）国民年金課

講 師 吹田市役所 職員

開催日・内容 8月9日(木) 修了試験(筆記、実技、語学力チェック)

場 所 メイシアター会議室、千里花とみどりの情報センター、SIFAほか
イ コミュニティ通訳行政窓口同行事業

7月から通訳同行をスタートしました。市役所窓口だけでなく、幼稚園や小中学校からの懇談会などの通訳依頼など通訳依頼内容が多岐にわたり、通訳者から学習会の要望が寄せられています。

依頼件数 44件 (英語: 31件、中国語: 12件、韓国朝鮮語: 1件)

3 コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修

※(吹田市委託事業「吹田市コミュニティ通訳運営業務」)

コミュニティ通訳ボランティアの技術向上を目指し、研修会を行うことで通訳ボランティアが安心して活動できるよう支援しました。実際の通訳現場で必要となる制度の話など、コミュニティ通訳者にとって有意義な講義となりました。

(1) コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修

①開催日 6月29日(金) 参加者 5名

場 所 済生会千里病院

内 容 病院の感染対策について

講 師 橋本 渚氏(済生会千里病院 感染管理室副室長/感染管理認定看護師)

②開催日 2月8日(金) 参加者 4名

場 所 SIFA

内 容 外国籍患者の医療・社会福祉制度について

講 師 村松紀子氏(医療通訳研究会MEDINT代表/社会福祉士)

(2) 通訳ボランティア勉強会(英語)

開催日 ①7月23日(月) 参加者 3名

開催日 ②11月26日(月) 参加者 4名

開催日 ③3月4日(月) 参加者 3名

場 所 SIFA

講 師 ジョン・ファム氏(SIFA講師)

4 地域事業への在住外国人の参加促進

CARES-Osaka事業(関西大学委託事業)の中で、留学生と地域住民との交流促進活動を実施しました。II-5-(2)ア参照

5 その他の外国人への支援

(1) 外国人児童生徒の支援

ア ハロハロ SQUARE (外国にルーツを持つ子どもの学習支援事業)

(吹田市補助金事業)

外国にルーツをもつ小学生～高校生の学習支援を、大阪大学グローバルイニシアティブ・センターとの連携事業として実施しました。学校の勉強や日本語学習などそれぞれの課題を、大学生を含むボランティアと一緒に学習しました。

① ハロハロ SQUARE

開催日 4月13日(金)～3月15日(金) 全39回

参加者 小学生～高校生 延べ323名 ボランティア 延べ321名

場 所 S I F A

② 夏休み自習室

開催日 7月27日(金)、8月3日(金)、8月24日(金)

参加者 小学生～高校生 延べ8名 ボランティア 延べ4名

場 所 S I F A

イ 外国籍児童支援事業 (自主事業)

吹田市教育委員会主催の「日本語適応教室」に通う子どもについて、教育委員会や指導スタッフと情報や課題の共有をしながら連携、協力しました。

ウ 帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業 (自主事業)

大阪府教育庁主催の「多言語 進路・学校生活サポートガイド」を通じ高校受験などの進路選択のための情報提供と相談などに協力しました。

開催日 10月20日(土) 参加者 児童生徒・保護者 42名

場 所 高槻市総合センター

(2) 子育て中の外国人支援「こあらくらぶ」 (吹田市補助金事業)

外国人ママ・パパたちが日本での子育ての不安を和らげる目的で、新たな出会いや交流にて子育ての悩みを共感し、情報交換できる機会を作りました。身近な話題や手作り工作などでボランティアやほかの参加者と関わりながら、自ら積極的に参加できる子育て広場になっています。保健センターから保健師を招き、個別相談を実施、多くの相談を受けました。母子手帳や予防接種など、日本人にとっては当たり前のことも、丁寧に説明が必要でした。参加した子供は、0歳～2歳が多いです。7月と9月は、地震と悪天候が影響して、直前に全員キャンセルになりました。

開催日	6月1日(金)	7月5日(木)	9月7日(金)
場所	SIFA	のびのび子育てプラザ	SIFA
参加者	4組(8名)	0組(0名)	0組(0名)
ボランティア	3名+子ども2名	0名	0名

開催日	10月19日(金)	12月7日(金)	2月1日(金)
場所	SIFA	SIFA	SIFA
参加者	4組(10名)	5組(10名)	3組(7名)
ボランティア	3名+子ども2名	3名+子ども2名	2名+子ども2名

(3) 行政情報などの提供(自主事業)

在住外国人にも日本人と同じように行政などの情報が届くように、外国人向け多言語メールリスト「ミミヨリINFO」などを活用して、必要な情報を提供しました。法律や行政情報に合わせて、生活に役立つ情報やイベント情報も、やさしい日本語や多言語で提供しました。

ミミヨリINFO登録者数 243名(3月31日現在)

(4) 使える日本語(自主事業)

日本語中級学習者を対象に、社会参加につなげるための有料日本語クラスを実施しました。講師による「読む・聞く・書く・話す」の4技能を総合的に学習するクラスです。年度末近くにて実施した、作文と5分間の日本語プレゼンテーションからなる発表会は、学習者が自信をつける良い機会となりました。

開講日 4月11日(水)～3月20日(水)全41回 参加者 延べ267名

場所 SIFA

IV SIFA賛助会員

協会事業への支援、協力を得るために賛助会員を募り会費の確保に努めました。

個人会員	545名(547口)
外国人会員	105名(105口)
法人会員	15法人(15口)

V その他

【参加・協力】

文化庁日本語教育大会・京都大会：パネル発表
大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議
大阪府自治体国際化推進連絡会議
大阪府国際交流財団やさしい日本語ネットワーク会議
大阪北部地震における外国人支援状況振り返り会
大阪府教育庁「日本語初級学習者支援講習会」：講師派遣
地域で活動する識字・日本語教室の支援力強化事業 識字・日本語学習シンポジウム
地域で活動する識字・日本語教室の支援力強化事業 エリアネットワーク会議
三島ブロック識字・日本語学習担当者連絡会議 教室見学会：視察受け入れ
関西大学留学生別科入学式・修了式
関西大学外国語学部加藤ゼミ：外国人インタビュー協力者紹介
大阪大学『防災コミュニケーション』未来共創思考サロン交流セミナー：パネルディスカッション登壇
大阪大学医学部国際医療研究会：ホストファミリー募集
大阪学院大学CETアカデミックプログラム：ホストファミリー募集
大阪学院大学CETアカデミックプログラム：インタビュー協力者募集
甲南女子大学多文化コミュニケーション学科 行動演習：学生受け入れ
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科：医療通訳者に関する調査協力
大阪府立山田高校日本語授業：講師派遣
大阪府立北千里高校：ホストファミリー募集
吹田市立中学校の職場体験受け入れ：竹見台中学校、山田東中学校、豊津西中学校、第二中学校、第一中学校
千里みらい夢学園 英語DAY：外国人ボランティア紹介
千里ニュータウンプラザ連絡会議
関西国際交流団体ボランティアネットワーク会議（K I V ・ N E T）総会
江坂大池地区公民館「外国の伝統文化」：講師紹介
交流活動館つながり文化講座「はじめての韓国語」：講師紹介
交流活動館つながり文化講座「はじめての中国語」：講師紹介
吹田市安心安全の都市づくり協議会
外国にルーツをもつ子ども支援ネットワーク事例研究会
岸和田国際親善協会：視察受け入れ

災害時要配慮者を支える減災フェア：パネル出展

吹田市パスポートセンター開設式

吹田市多文化共生推進アドバイザー会議

吹田商工会議所 新年懇親会

ラコルタ利用者懇談会兼団体交流会

【研修参加】

市民公益活動センター主催「知らないと損する広報の基礎」

大阪府国際交流財団主催「やさしい日本語研修」

全国市町村国際文化研修所主催「外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援」

【取材】

吹田市広報番組 第1回SIFA多文化まつり

3 理事会・評議員会など

(1) 理事会

- ・第1回通常理事会：平成30年5月14日（月）

- 議案第1号 平成29年度事業報告及び決算の承認について

- 議案第2号 平成30年度収支補正予算書の承認について

- 議案第3号 副理事長の選定について

- 議案第4号 理事候補者の推薦について

- 議案第5号 平成30年度定時評議員会の招集について

- 報告第1号 平成29年度第2回臨時評議員会の開催停止について

- 報告第2号 理事長職務執行状況報告

- ・第2回通常理事会：平成31年3月15日（金）

- 議案第6号 平成31年度事業計画書について

- 議案第7号 平成31年度収支予算書について

- 議案第8号 平成31年度資金調達及び設備投資の見込みについて

- 議案第9号 平成30年度第1回臨時評議員会の招集について

- 議案第10号 事務局長の任免について

- 報告第3号 評議員1名の辞任について

- 報告第4号 理事長及び副理事長職務執行状況報告

(2) 評議員会

- ・定時評議員会：平成30年5月30日（水）

- 議案第1号 平成29年度決算の承認について

- 議案第2号 平成30年度収支補正予算の承認について

- 議案第3号 理事の選任について

- 報告第1号 平成29年度事業報告について

- 報告第2号 副理事長の選定について

- ・第1回臨時評議員会：平成31年3月23日（土）

- 議案第4号 平成31年度事業計画書について

- 議案第5号 平成31年度収支予算書について

- 議案第6号 平成31年度資金調達及び設備投資の見込みについて

- 報告第3号 評議員1名の辞任について

- 報告第4号 事務局長の任免について

(3) 公認会計士による決算監査の実施

- ・平成29年度決算監査：平成30年5月1日（火）

(4) 監事監査の実施

- ・平成29年度決算監査：平成30年5月2日（水）

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5月

公益財団法人 吹田市国際交流協会